

「放射性廃棄物管理の変遷」

Gui jong Lee, KHNP, Yonggwang NPP 5&6 (韓国)

リアルタイム管理プログラムの開発・運用による放射性廃棄物管理の改善によって、下記のような成果が得られている。

改善前	改善後
廃棄物の発生源及び発生者に関する検討なし	<ul style="list-style-type: none"> ・原因の特定とフィードバック ・発生者に関する責任ある管理
作業後に混合して、全てを廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染物／非汚染物の分別 ・放射能特性に従った適切な除染
データの欠如による目標管理の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物に関する目標管理と ALARA
液体放射性廃棄物の前処理なし	<ul style="list-style-type: none"> ・液体放射性廃棄物の分別 ・床ドレンへの異物混入防止用フィルタの設置

リアルタイム管理プログラムによる廃棄物の低減 (2010 年)			
乾燥放射性廃棄物 (DAW) ドラム缶	計画	結果	低減率
	38	15	61%

今後は、次のような活動が計画されている。

- ・ 主要な放射性廃棄物発生源の改善
- ・ 放射性廃棄物低減のための目標管理と ALARA
- ・ 廃棄物低減に関する教育用ビデオの制作
- ・ 利便性及び実用性の向上のためのプログラム改善